



## 【先週のMESSAGEより】

神はどんなときでも共にいてくださる 創世記28章

●ヤコブは兄と父を欺き、伯父のラバンの元へ孤独な逃亡の旅にでなければならなくなった。自分の祖父と父の神、主はそのようなヤコブにご自身の方から迫り、夢で会ってくださり、祝福の約束がヤコブにも引き継がれ、ヤコブは決して捨てられず、必ず故郷に連れ戻されて相続を受けることを語ってくださった。ヤコブは父祖たちの神が自分とも共におられることを始めて知り、新たな勇気が与えられ、未知の世界へと旅を続けることができたのである。●神は私たちにも同じ約束を下さっている。不安や恐れに取り囲まれる時、目に見えなくても神が共におられることを信じ、感謝して歩んで行きたい。神はいろいろな形で共におられることをも確認してくださることを覚えない。



## 【今週の暗唱聖句】 ヘブル12章10節

霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです。

●この御言葉の前後を読んで神の子供たちに与えられている特権を発見しましょう。

5) そして、あなたがたに向かって子どもに対するように語られたこの勧めを忘れていません。「わが子よ。主の懲らしめを軽んじてはならない。主に責められて弱り果ててはならない。6) 主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、むちを加えられるからである。」7) 訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるのでしょうか。8) もしあなたがたが、だれでも受ける懲らしめを受けていないとすれば、私生子であって、ほんとうの子ではないのです。9) さらにまた、私たちには肉の父がいて、私たちを懲らしめたのですが、しかも私たちは彼らを敬ったのであれば、なおさらのこと、私たちはすべての霊の父に服従して生きるべきではないでしょうか。10) なぜなら、肉の父親は、短い期間、自分が良いと思うままに私たちを懲らしめるのですが、霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです。11) すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。

## 【今週の英語】 C.S. Lewis

We all want progress, but if you're on the wrong road, progress means doing an about turn and walking back to the right road. In that case, the man who turns back soonest is the most progressive." だれでも進歩すること

を願うだろうが、もし間違った道にいるなら、進歩は180度方向転換して正しい道に戻ることを意味する。この場合、最も早いうちに方向転換できた人が最も進歩していると言える。



## 【Faith Bible Church 日本語ミニストリーの紹介】

<http://www.fbcseattle.org/jp/top.html>

●先週は西海岸ワシントン州シアトルにあるフェース・バイブル・チャーチの修養会に招かれ奉仕をさせて頂いてきました。祈りを持って支えて下さった教会に皆さんには心から感謝申し上げます。全体では250人以上はいたと思われる修養会でしたが、立石が担当したのはそのうちの日本語ミニストリー部門で、30人ちょっとのグループでした（下の写真）。

●教会は1948年12月に Nisei Christian Fellowship という名で主に日系二世の教会として始まり、以降日系人教会として発展して行きました。牧師は白人であったことの方が多く、今も日本で宣教経験のある Craig Swanson 先生です。日系移民が西海岸に渡りすでに多くの時間が経ち、アメリカ社会の中に溶け込んで行く中で、教会は今や「マルチエスニック」化し、言われて見れば日系人が多いかな、というような状況です。アジア系同士のカップルや白人も多く、人種のるつぼであるアメリカがそこに実現しています。

●日系教会としての背景、創始者たちの日本人への重荷を新たに受け止め、1981年よりシアトル周辺の日本語を話す人々への働きが開始され、現在英語での働き傍ら、日本語による礼拝や聖書研究会などが行われています。国際結婚している家族では、夫と子供は英語部、妻は日本語部というような組み合わせも結構います。日本人留学生が集まる大学も

幾つかありユースの働きが盛んです。駐在員伝道は地域的制約もあり、心も開いておらずなかなか難しいとも聞きました。

●日本語部は無牧状態が2年続いており現在牧師を求めているとのことです。お祈りして行きましょう。牧師／記■



2008.10.12